

地方独立行政法人山梨県立病院機構 平成29年度業務実績報告について

1 全体評価

	S	A	B	C	D	計
H29	14	18	8	0	0	40
H28	13	16	11	0	0	40
増減	1	2	△3	0	0	0

2 評価を変更した項目及びその理由

(1) AからSに上げた項目

①(40) 山梨県地方独立行政法人の業務運営並びに財務及び会計に関する規則第5条で定める事項

職員数は、前年度と比べて3.8%増、機構発足時と比べると32.6%（356人）増加し、1,447人となり、政策医療の確実な実施や質の高い医療の提供に向け、適切な人事管理を行っている。

また、新専門医制度において、中央病院では内科、総合診療科、救急科、整形外科、北病院では精神科の専門研修基幹施設として、専攻医の専門医資格取得を人的及び物的に支援するため、専門研修プログラム作成などの準備を行い、平成30年度に開始することとなった。

(2) BからAに上げた項目

①(25) 県内の医療水準の向上

院内外の医療従事者を対象とした、がん医療従事者研修会やエイズ研修会、総合周産期母子医療センター症例検討会を実施するなど、医療技術の向上に資する研修を実施した。

また、助産師の知識と技術の向上を図るため、ハイリスク分娩を扱う中央病院において、県内の医療機関から3名の助産師及び県立看護大学から3名の助産師学生の研修を受け入れるとともに、訪問看護ステーションに勤務する訪問看護師が最新の医療知識及び医療技術を習得するため、実習を受け入れた。

②(31) 効率的な業務運営の実現

適正な外部委託とするため、情報システムの保守、病棟クランク業務の内製化を行い、業務の効率化を図った。殊に、病棟クランクについては計画的な採用を行っており、平成29年12月からは医師事務作業補助体制加算（30対1）が取得できた。

また、器械備品の保守料を削減するため、1,000万円以上の器械備品を更新、増設する際には、備品購入費だけでなく保守料を含めたトータルの費用により入札を実施した。

さらに、中央病院で実施した、「入院患者等給食業務委託」及び「物流管理等業務委託」の業者選定において、従来実施していた競争入札ではなく、企画提案型のプロポーザル方式を採用した。

③(39) 積極的な情報公開

病院機構、中央病院、北病院がそれぞれホームページを開設し、積極的な情報公開に取り組んでいるが、平成29年度には、病院の情報発信力を高めるため、各部署においてホームページの作成、修正等が簡単に行えるよう、ホームページシステムの更新に着手した。

また、中央病院の年内の研究成果をまとめた山梨県立中央病院年報に、学会発表、和文英文の論文発表や各種講演会での発表等の病院の詳細な活動を掲載するとともに、ホームページにも積極的に掲載した。

3 平成29年度に新たに取り組んだ項目及び実績が顕著に上昇した項目

番号	項目	頁	区分	内容
1	(1)救命救急医療	P6	新たな取り組み	救命救急センターの改修に向けた取り組みに着手
2		P7	新たな取り組み	渡航・ワクチン外来において、輸入ワクチンの使用を開始
3	(2)総合周産期母子医療	P8	実績の上昇	胎児超音波スクリーニング検査等の実施件数が増加(53.0%増)
4			実績の上昇	MFICU入院患者数が著しく増加(213.3%増)
5			新たな取り組み	産婦検診の実施
6	(3)がん医療	P9	新たな取り組み	平成30年度の組織改正において、検査部にゲノム検査科を設置
7			新たな取り組み	遺伝子外来開設
8			新たな取り組み	がんゲノム医療連携病院に指定
9		P10	実績の上昇	免疫チェックポイント阻害剤使用数量が著しく増加(116.8%)
10			新たな取り組み	保険収載が拡大されたロボット手術への準備を開始
11	(4)難病(特定疾患)医療	P11	実績の上昇	臨床調査個人票(難病患者の医療費助成制度の申請に必要となる医師の診断書)の新規作成件数の増(46.4%増)
12	(5)エイズ医療	P12	実績の上昇	エイズ研修会開催数の増(150.0%増)
13	(11)重症通院患者への医療	P15	新たな取り組み	訪問看護ステーションの設置、運営に関する検討を開始

3 平成29年度に新たに取組んだ項目及び実績が顕著に上昇した項目

番号	項目	頁	区分	内容
14	(12)医療従事者の育成、確保及び定着	P16	新たな取り組み	ゲノム医療の遂行のための医師の採用
15			新たな取り組み	「精神科リエゾンチーム加算」取得に向けた体制の整備(中央病院精神科に認定看護師を配置)
16			新たな取り組み	新専門医制度に開始に向けた専門研修プログラム作成
17	(13)7対1看護体制への柔軟な対応	P17	実績の上昇	看護師の採用数の増(25.8%増)
18			新たな取り組み	人材確保対策委員会を設置
19			新たな取り組み	新任看護職員の宿泊研修を実施
20	(14)医療の標準化と最適な医療の提供	P19	実績の上昇	内視鏡下手術の件数が増加。特に外科(27.3%増)、泌尿器科(28.8%増)において増加した
21			新たな取り組み	無菌室を1床整備し、病院全体で2床となった。現在、新たに7床整備整備中(H30年8月完成予定)
22			新たな取り組み	結核病床を4床減らし(20床→16床)、一般病床へ変更
23			新たな取り組み	病院機能評価受審に向け準備開始
23	(17)医療安全対策の推進	P21	新たな取り組み	北病院に医療安全専従看護師を配置することとした。
24		P22	新たな取り組み	インフルエンザ流行期に合わせ、来院者制限に向けた試行的取り組みを実施
25			新たな取り組み	H29年6月に発生した異型輸血事故の再発防止策をホームページで公表
26	(20)医薬品の安全、安心な提供	P23	実績の上昇	通院加療がんセンターにおいて、薬剤師が治療薬の説明を行った患者数(139.8%増)及び説明回数(152.5%増)が著しく増加した。
		P24	新たな取り組み	H29年7月に発生した薬剤紛失事案について、改善計画を作成し、薬剤管理の強化と再発防止に取り組んだ。

3 平成29年度に新たに取組んだ項目及び実績が顕著に上昇した項目

番号	項目	頁	区分	内容
27	(21)患者サービスの向上	P24	新たな取り組み	分かりやすい外来案内掲示板を設置
28			新たな取り組み	再来受付機隣に保険証確認コーナーを設置
29			新たな取り組み	入退院センターで手続きを行う対象科の拡大(内科、外科に加え、泌尿器科の手続きを開始)
30			新たな取り組み	中央病院立体駐車場をすべて患者専用の駐車場とした
31			新たな取り組み	北病院の「病院バス」を更新
32	(26)地域医療機関との協力体制の強化	P31	新たな取り組み	かかりつけ医検索システムの導入
33	(27)地域医療への支援	P32	新たな取り組み	新専門医制度に開始に向けた専門研修プログラム作成
34	(29)医療救護活動の拠点機能	P34	新たな取り組み	北病院において、長野県立こころの医療センター駒ヶ根と災害時の相互支援協定を締結
35			新たな取り組み	大規模災害時、被災地域に北病院の精神医療チーム(DPAT)を派遣する協定を県と締結
36	(31)効率的な業務運営の実現	P37	新たな取り組み	器械備品の保守料削減のため、10,000千円以上の器械備品を購入する際には備品購入費に保守料を含めたトータル費用で入札を実施
37	(32)経営基盤を安定化するための収入の確保、費用の節減	P39	実績の上昇	9分野の共同購入に参加し、前年度に比べ31,729千円増の50,418千円の大幅な経費削減を図ることができた
38	(34)職員の経営参画意識の向上	P41	新たな取り組み	通年型職員提案制度を創設
39	(35)職場環境の整備	P42	新たな取り組み	病児・病後児保育所の開設
40			新たな取り組み	夏季休暇取得可能な時期の拡大(6月～10月)
41	(39)積極的な情報公開	P47	新たな取り組み	ホームページシステムの更新に着手